

西南学院大学

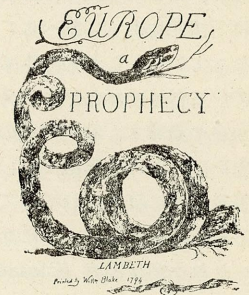
図書館報

第27号

昭和40年4月1日発行
 発行所 福岡市西新町798 電0031
 西南学院大学図書館
 発行人 山下和夫

図書館と私

坂本重武



私をはじめて利用した図書館らしいものは、今はソール、当時は京城の京城中学校の図書室であった。教室らしい部屋の周囲に図書が並べてあって、今のオープン・システムであった。そこで、私は逍遙訳の「ハムレット」を読んだことを覚えている。また、英語で書いた代数や幾何の本を手にとって見て、大変物珍しく感じたりした。こういうところにも、オープンのよさがあると思う。

次は熊本の県立図書館と五高の図書館であった。どちらも閉架式であって、目録カードで検索して、申し込んで永い間待たあぐく、本が無かったり、期待はずれの本が出て来たりした。それでも、県立図書館には随分御厄介になった。鷗外や漱石の全集を読んだのはそこであった。特に漱石は熊本に関係が深いので愛読した。ブランドスの「19世紀文芸思潮史」の英訳などもあって、ちょっと覗いたこともあった。五高の図書館でもいろいろのものを読んだが、印象に残っているのは「大近松全集」や「黙阿弥全集」などである。

東大の図書館は、ちょうど震災後で、閲覧室は実に粗末な仮小屋で大した利用も出来なかった。その後西南に来て教員の特権として書庫に自由に出入できるようになった。蔵書は乏しかったが、それでも、今まで聞いているだけで、見たことのない書物を手にとって、親しく見ることのできるのは非常なよろこびであった。昭和26年にはベイラー大学に学んだ。家庭を離れた当時の私には図書館は憩の場所であった。夏は冷房、冬はスチーム、まずすべてが快適であって、夕食後ブラリと図書館にはいって新刊雑誌などをあさり読みするのは楽しいことであった。出入は全く自由で、学生も書庫に自由には入れた。西南の図書館もこのようなものになったら、学生にとってどんなに有益であろうと思った。その希望は現状においてなかば達せられている。なかばというのは、蔵書の半分は閉架であり、出入口で多少のチェック

をしているからである。学校図書館はオープン・システムでなければならないというのは私の考えである。しかし、それには入館者の高い教養と立派な公徳心という前提条件が必要であることは言うまでもない。外国の大学図書館でも、図書の切り取りや紛失はある。しかし、それほど多くはないらしい。西南の図書館はそういうことは絶対にあってはならないと思う。しかし、その点でも、私の願いはなかばしか達せられていないようである。テレビやラジオの発達した現代では、本はだんだん読まれなくなったと言われる。しかし、本を読もうとさえ思えば学生時代ほど読書の時間の豊富にとれる時代はすくない。新しく大学にはいられた諸君が図書館を大いに利用されることを望んでやまない。

(図書館長)

告知板

- 新入学生の利用開始 新入学生に対する図書館のオリエンテーション終了後から図書館を利用することができます。
- 仏語仏文学関係図書の移動 本年度から外国語学科が発足したので、仏語仏文学関係の図書を従来あった一般教養閲覧室から英仏閲覧室(従来の英文閲覧室)へ移動しました。
- 卒論特別貸出について 4年次生は卒論作成のための特別貸出が受けられます。冊数は3冊まで1ヵ月間で指導教授の証明が必要です。希望者は係まで。

ご存知ですか

Closed Books

閉架図書

この図書館はオープン・システム（開架式）を採用し、ほとんど大半の図書が公開されていて、諸君は直接手にとって調べることができる便利な方式になっている。しかし、全ての図書がオープンになっているわけではない。例えば、高価で入手し難い貴重書や豪華本、利用頻度の極く少ない特殊研究書や史料類、その他公開に適しない和装本などは、閉架書庫の中に収められていて、諸君は直接これに接することができないようになっている。

これが閉架図書（Closed Books）である。

ここでは、こうした、ふだん余り日の目を見ない閉架図書の紹介を試みてみた。閉架図書を利用するには、先ず目録カードで調べ、閲覧伝票に必要事項を記入して係員に請求しなければならない等手続きの不便さがあるが、その利用に習熟すれば、却って皆の余り利用しない貴重な文献や豪華本を我物顔に利用できる満足感を味わえるというものである。是非その利用をおすすめしたい。次に、閉架図書の主なものを一部紹介しよう。

閉架書庫にはどんな図書があるか — その 1 ・ 和 漢 書

哲学・宗教関係のものでは

- 「田辺元全集」全15巻（筑摩書房）
 「和辻哲郎全集」全20巻（岩波）
 「内村鑑三全集」全20巻（岩波）—著者は1861年高崎藩士の子として江戸に生れ、1877年札幌農学校に学び、そこでW. S. クラークの感化を受けてキリスト教に入信、無教会主義又平和主義者として有名。
 英文で書かれた「How I become a Christian.」は数カ国語に訳された名著である。—
 「西田幾太郎全集」全18巻（岩波）

歴史・伝記・教育関係をあげると

- 「国史大系」全58巻（同刊行会）
 「渋沢栄一伝記資料」全58巻（同刊行会）
 一明治財界に偉大な功績を残した渋沢翁の足跡をたどり、その現代的意義を再認識するために刊行されたもの。—
 「近代日本教育制度史料」全35巻（講談社）

商経関係のものとしては

- 「判例体系」現在100冊 継続中（第一法規）
 一昭和28年より発刊され、現在追録により新しい判例等も充足されつつある。—
 「日本金融史資料」明治大正編 全26巻（大蔵省印刷局）
 一日本銀行調査局の編纂で、金融制度・金融事情・金融論等から成る。現在、その昭和編が続刊中である。—
 「明治大正財政史」全20巻（財政経済学会）
 一明治元年から大正までの通史。戦後復刻されたが、これは戦前版。
 「明治財政史」全15巻（丸善）

一明治元年より35年までを扱い、執筆は関係の官吏で、公的な資料とみられている。—

芸術関係のものをみてみよう

- 「世界陶磁全集」全16巻（河出書房）
 「山田耕筰全集」現在7冊 継続中（第一法規）
 「図説茶道大系」現在6冊 継続中（角川書店）
 「日本美術大系」全11巻（講談社）
 「日本絵巻物集成」全20巻（雄山閣）
 「世界美術全集」全29巻（平凡社）
 「書道全集」全25巻（ク）

文学・語学関係をみると

- 次の4種の雑誌は、新着の間は雑誌室においてあるが、古いものは製本されて閉架書庫に収められる。
 「英語青年」「英語研究」「時事英語研究」「英語教育」
 「シェークスピア全集」全1巻（新樹社）
 一坪内逍遙のシェークスピアの訳業を1冊にまとめたもの。—
 「石川淳全集」全11巻（筑摩書房）
 「ゲーテ全集」全32巻（改造社）

その他のものには

- 「世界大思想全集」124冊（春秋社）
 「世界大思想全集」63冊（河出書房）
 一哲学・文芸思想篇と社会・宗教・科学思想篇の2篇から成る。—
 「津田左右吉全集」現在16冊 継続中（岩波）
 「波多野記念文庫」和、洋合計2,000冊
 一西南学院で大正9年より昭和19年3月まで当時の中学部・高等学部で教鞭をとられた故波多野培根先生の蔵書。主として東洋・西洋哲学、歴史、神学の広範囲にわたっている。その目録は別冊として用意してあるので、ご入用の方は係まで申し出られたい。

■ 英語コース学生のために

3年前の「図書館報」で、当時の「文学コース」の学生のために読書案内を試みた記憶があります。今度は「処方箋」にかえて、英語を専攻とする人達に、一・二思いつくまま記してみましょう。

教科書の訣別。関心のない所に自主的読書はもとより無理な話です。自らの目的意識を持つこと、それは所謂「定食」への反抗となって現れます。解説にとらわれず、まるごと一つの全体を読み通す、出来るだけこの習慣は身につけたいものです。

英語主義。すぐれた翻訳が、比較的容易に手に入る今日、「原典主義」に拘泥する事はたしかに滑稽です。衆知の如く過去に於て、原書＝英書を意味した時代がありました。原書で読むという事が、原典そのものを意味せず、露、独、仏、伊、西等で書かれた書物の英訳本を示している場合が少なくなく、明治はもとより、大正に至っても、「重訳」による原典紹介は認められた事実でもあったようです。所で、私達はこの原書主義を逆手に利用する事は出来ないものでしょうか。つまり、もう一度、「窓」として、「道具」としての英語を積極的に考慮するのです。語学力に限界のある若い学生に、敢て時代遅れの、一見無暴な試みをすすめたいのです。辞書を頼りに、よそめには幼稚な虚栄心と映るうとも、思いきって「つむじ曲りの読書法」を実行するのは、若い学生の特権といえましょう。それは趣味的読書三昧とは根本的に縁のないものです。切実な関心が、焦燥にも似た内からの叫びに、たえず前進を意図してゆくものあり、而も他方、かの合理主義からも断絶しているものです。手軽な文庫本で間に合うものを、何を好んで要領の悪い、時代遅れの原書主義に挑戦する必要があるか。此処では、この種のとりすました賢明さは通用しません。

蔵書。本に挑戦するためには、最小限手許に置く必要があります。朝夕目につけば、否応なしに惰性を一扫してくれるでしょう。挑戦は相互的なものです。機会を見つけては、洋書専門店をのぞく事、これは学生にとって、権利でもあり、当然の義務ともいえましょう。

自ら一冊の本を選び、購入し、読みあげる、こうした体験を踏まえて大学図書館を訪れる時、日頃冷たく表情を殺した鋼鉄製の書架から、ある親しみのこもった呼びかけが、必ずずや、私達に伝ってくるものと信じます。

(八木幹助教授)

■ 仏語コース学生のために

フランス語専攻生に要求される専門的能力・知識の習得のために、1年次学生はどのようなものを読めばよいか、この4月から読むべきもの二点。後期からのもの二点と、二つに分けて紹介したい。

(一)「エコノミスト」 経済の理解なしには政治社会の動き、国際情勢、文化の理解も皮相にならざるを得ない。特に外国語学科の学生にとって、経済的知識は身につけるべき専門的知識として要求されるものであるから、この雑誌は是非読んでもらいたいものの一つである。経済専門の雑誌であるが、因みに3月23日号をみると、「ジュネーブ協定を侵したものは誰か」「転換期に來た中国科学」「日本帝国主義の復活について」など国際問題、政治問題に関する記事も収録されている。雑誌からの知識は細切れになる恐れもないではないが、1年で50数冊、4年で2百十数冊から得られる知識は相当なものであり、特に巻末の「国際経済統計」「景気動向統計」は冊数が増すにつれ、経済の動きを見る上で、威力を発揮すると確信する。

(毎日新聞社刊、80円)

(二)「時事英語研究」 英語を読み、書く能力はフランス語専攻学生にとっても必要欠くことの出来ない重要なものである。従ってその力の養成には大いに努力しなければならないが、雑誌・新聞を講読するのは、そのためにきわめて有効な

方法である。数ある英語雑誌の中からこれを選んだ理由は、ワールド・ニュースと称して雑誌発行前月の毎日について十行以内の記事が掲載されており、英字新聞を毎日読むのは或いは苦痛であるかも知れない学生も、これを一日一つずつ読むことによって、読解力を向上させることが出来ると思われるからである。

(研究社刊、140円)

後期から、フランス語学力の養成に読まれるべきものとして2つの定期刊行物をあげる。

(1)「パリ・マッチ」(Paris-Match) グラビアの美しきでライフと並び称される週刊誌。豊富な写真が説明文の理解を助けてくれる。図書館に購入の予定。(年間予約価・7,120円)

(2)「ル・モンド」(Le Monde) フランス有力新聞の一つ。図書館にはヘブドマジュール(週刊紙)が購入、常備されている。読み易さの点からやはり日刊紙をすすめたい。一人で講読するのは経済的負担も大きいし、全部を読むのは不可能でもあるから七人で共同購入すればよい。(年間予約価・14,250円) (山崎卓講師)

特
集

外国語学科学生へ

私の推薦図書

戦後の今日ほど「自由」ということが狂歌され、ひとびとがそれを享受しているときはない、といわれている。その場合、いわれるところの「自由」とは、概して「意志の自由」、すなわち各人がその欲するままに行動する能力を指している。そして平和と民主主義の社会は、このよ

うな各人の「意志の自由」というものがどこまでも貫かれ、それが維持されることによって成り立つ、と説かれる。い

われることは、たしかに真理の一端をついている。われわれは、このような「意志の自由」をどこまでも尊重し、それを保持することに努めねばならない。

だがわれわれは、このような「意志の自由」を絶対的なものとみて、その存在自体に特別な価値をおき、それがあたかも自然および社会のあらゆる事柄を支配するかのごとく考えてはならない。自然および社会には、われわれの意識とはかかわりのない、一定の客観的の法則が存在し、日日新たなる自然的・歴史的必然を生み出している。

ガリレオを引き合いに出すまでもなく、地球は太陽をめぐって運行しているのであって、われわれはそれを否定することも、阻止することもできない。だが引力の法則や運動の法則、その他の法則を知り、それを駆使することによって、人工衛星を打ち上げ、地

球のまわりを公転させることはできる。そのかぎりにおいて、われわれは自然を征服し、自由を拡大したのである。社会についても事態はほぼ同じである。資本主義社会が封建社会について出現したのは、社会発展の法則にもとづいたものであり、それは決して偶然ではない。物価の上昇や下降は、需

随想

自由と必然

山村延昭

「早めたり、遅らせたり」することはできる。われわれのもつ「意志の自由」とは、このようなものである。

このように、ひとびとの意識にかかわりのない自然的・歴史的必然が存在することは、自然および社会における人間の役割を否定し、その行動の自由を排除するものではない。逆に、自然および社会における基本的運動法則の認識によって、われわれの多面的な活動は、科学的意味での自覚した行動の自由を確保することになるのである。必然の法則を認識し、その法則にしたがって行動する能力、それが真の「意志の自由」なのである。

(経済学部助教授)

■ 図書寄贈者

- 故木村秀子氏 (木村毅教授御母堂)
山鹿素行全集 全15巻 他184冊
- 里見信子氏 (故里見安吉教授夫人)
ダンテ神曲解説 里見安吉著
- アジア財団
Introduction to Pile Theory. 他14冊
- 故萩尾幸子氏 (68-31)
御遺族より
研究社英和大辞典 5冊
- 大国素子氏 (65-41)
卒業記念寄贈
文字の歴史 他13冊

■ シェイクスピア展 報告

シェイクスピアの生誕 400 年を記念して、さる11月12日から3日間にわたってシェイクスピア展が図書館3階閲覧室で開催されたが、図書館のシェイクスピア関係文献のほかに、本学の坂本・金山・八木・佐渡谷先生、高校の吉原・豊田先生およびアメリカ文化センターからも資料出品のご協力があり、図書約 500 冊、特集号雑誌約50点、写真絵葉書など多数の資料を展示することができ、約 230名の入場者を得て盛会であった。

* * *

■ ニュース

< 図書館委員会 >

- 39.11. 6 昭和39年度私大助成金に関する件
- 39.12. 4 昭和40年度経常部予算請求案について、四部叢刊購入について
- 40. 3.20 昭和40年度図書費配分方針について、その他

< 図書館会議出席 >

- 39.11. 4 私立大学図書館協会総合研究会 (於近畿大学) 山下司書長出席。

- 40.2.9~10 九州地区著作権協議会 (於宮崎県) 山下司書長出席。
- 40. 3.18 福岡県大学図書館協議会 (於九州工大) 杉本司書出席。

< 図書館委員名簿 >

教養部	宮本 堯 夫
神学科	関谷 定 夫
英文学科	大森 衛
商学部	徳重 宏一郎
経済学部	高津 英雄
児童教育科	高橋 さやか

< 職員名簿 >

館長	坂本 重 武
司書長	山下 和 夫
係長	杉本 善 夫
"/	伊藤 治 生
司書	松田 敬一郎
司書補	坂口 のぶ
職員	豊岡 和 子
	島上 昌 子
	品川 寿 子
	府川 洋 子

■ あとがき — 図書館報をは

じめて読む人のために —
これは図書館のPR誌です。年4回にわたって、図書館に関する色々な情報や案内をお送りします。ご意見をぜひどうぞ。(Y)